

## 絵画と物語

担当教員 山口 藍

受講アトリエ [802]

2019/9/3(火)-2019/10/23(水)

## 授業内容

描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月3日	火		現代美術演習B	①	オリエンテーション	
2	9月4日	水		制作		制作	
3	9月5日	木		制作	②	制作	
4	9月6日	金		制作		絵画技法実習	
5	9月7日	土		制作/日本語		就職セミナー	
6	9月8日	日					
7	9月9日	月		制作/フランス語	③	制作	
8	9月10日	火		現代美術演習B		特別講座	
9	9月11日	水		制作		制作	
10	9月12日	木		制作	④	制作	
11	9月13日	金		制作		絵画技法実習	
12	9月14日	土		制作/日本語		特別講座	
13	9月15日	日		50周年記念パーティ			
14	9月16日	月		敬老の日			
15	9月17日	火		現代美術演習B	⑤	制作	
16	9月18日	水		制作		制作	
17	9月19日	木		制作	⑥	制作	
18	9月20日	金		制作		絵画技法実習	
19	9月21日	土		制作/日本語		後期ガイダンス	
20	9月22日	日					
21	9月23日	月		制作/フランス語	⑦	制作	祝日授業
22	9月24日	火		現代美術演習C		制作	
23	9月25日	水		制作		制作	
24	9月26日	木		制作		制作	
25	9月27日	金		制作		海外留学講座	
26	9月28日	土		制作/日本語		制作	
27	9月29日	日					
28	9月30日	月		制作		制作	
29	10月1日	火		現代美術演習C		制作	
30	10月2日	水		制作		制作	
31	10月3日	木		制作	⑧	制作	
32	10月4日	金		制作		制作	
33	10月5日	土		前期作品合同講評会			
34	10月6日	日					
35	10月7日	月		制作/フランス語		制作	
36	10月8日	火		現代美術演習	⑨	制作	
37	10月9日	水		制作		制作	
38	10月10日	木		制作		制作	
39	10月11日	金		制作	⑩	制作	

40	10月12日	土	制作/日本語		制作	
41	10月13日	日				
42	10月14日	月	体育の日			
43	10月15日	火	現代美術演習C	①	制作	
44	10月16日	水	制作		制作	
45	10月17日	木	制作		制作	
46	10月18日	金	制作		制作	
47	10月19日	土	制作/日本語		制作	
48	10月20日	日				
49	10月21日	月	制作/フランス語		制作	
50	10月22日	火	即位礼正殿の儀			
51	10月23日	水	制作	②	講評	

## 学習目標

### ■支持体と描画の関係性

平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。

## 予習・準備物

支持体として活用できるもの。作品の題材となる図書など

## 注意事項

自分が選択した題材および素材に真摯に向き合い、今後の制作活動にもつなげていけるような作品にするため、指導日には必ず話し合えるようにしましょう。

## 評価方法

提出課題による採点

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [501]

2019/06/25(火)～09/24(火)

9:00-12:10

### 授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作のヒントを得るために、レクチャーと課題&講評会、課外授業を組み合わせたカリキュラムを行います。レクチャーでは、現代美術についての原理的な解説、日本現代美術史と戦後日本文化全般の解説を中心に行います。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月25日	火	○	オリエンテーション+レクチャー①		実技カリキュラム	
2	7月2日	火	○	レクチャー②(課題①出題)		実技カリキュラム	
3	7月9日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー①		実技カリキュラム	
4	7月16日	火	○	課題①講評会+レクチャー②		実技カリキュラム	
5	9月3日	火	○	レクチャー③(課題②出題)		実技カリキュラム	
6	9月10日	火	○	課題②講評会+レクチャー④		実技カリキュラム	
7	9月17日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー②		実技カリキュラム	
8	9月24日	火	○	講評会		実技カリキュラム	

### 学習目標

現代の視覚文化は映像を媒体としたコンテンツを抜きにして成立しません。サブカルチャーからハイカルチャーまで、映像というメディアがどのような役割を果たし、どのように展開したのか。本講義では主に戦後日本を中心としてアニメや映画、ゲームなどの映像コンテンツが表現してきたものを読み解いていきます。

### 予習・準備物

授業内でその都度指示する

### 注意事項

特になし

### 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

2年 ファインアート科

## 絵画技法実習(グリザイユ・水彩)

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [501]

2019/6/21(金)-2019/9/20(金)

13:00-16:00

### 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
	6月14日	金				海外留学担当講座	
1	6月21日	金			○	オリエンテーリング技法説明、制作	グリザイユ
2	6月28日	金			○	制作	↓
3	7月5日	金			○	制作	↓
4	7月12日	金			○	制作	↓
5	7月19日	金			○	制作、講評	↓
6	9月6日	金			○	水張り、技法説明、制作	水彩
7	9月13日	金			○	制作	↓
8	9月20日	金			○	制作、講評	↓
	9月27日	金				海外留学担当講座	

### 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

### 予習・準備物

モノクロの人物写真(顔) サイズ227x158mm(タテ・ヨコ自由)をA4の紙にプリントアウトしたもの 面相筆、平筆(小)

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

## 物質と絵画

担当教員 伊藤泰雅

受講アトリエ [802]

2019/6/6(木)-2019/7/19(金)

9:00-12:10 13:00-16:00

## 授業内容

主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数も可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月6日	木		制作 絵画概論	○	デッサン	指導:工藤
2	6月7日	金	○	レクチャー モチーフ	○	チェック、デッサン	
3	6月8日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
4	6月9日	日					
5	6月10日	月		制作 フランス語		デッサン	
6	6月11日	火		現代美術演習A	○	デッサン	
7	6月12日	水		デッサン 有色デッサン		有色デッサン	
8	6月13日	木		有色デッサン		有色デッサン	
9	6月14日	金		有色デッサン		海外留学担当講座	13:00避難訓練
10	6月15日	土		制作 日本語		特別講座	
11	6月16日	日					
12	6月17日	月		制作 フランス語		有色デッサン	
13	6月18日	火		現代美術演習A	○	デッサン講評	
14	6月19日	水		コラージュ		コラージュ	
15	6月20日	木		制作 絵画概論		コラージュ	
16	6月21日	金		コラージュ		絵画技法実習	
17	6月22日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
18	6月23日	日					
19	6月24日	月		制作 フランス語		コラージュ	
20	6月25日	火		現代美術演習B	○	エスキース講評	
21	6月26日	水		制作		制作	
22	6月27日	木		制作		制作	
23	6月28日	金		制作		絵画技法実習	
24	6月29日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
25	6月30日	日					
26	7月1日	月		制作 フランス語		制作	
27	7月2日	火		現代美術演習B	○	エスキース講評	
28	7月3日	水		制作	○	制作	
29	7月4日	木		制作 絵画概論		制作	
30	7月5日	金		制作		絵画技法実習	
31	7月6日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
32	7月7日	日					
33	7月8日	月		制作 フランス語		制作	
34	7月9日	火		現代美術演習B	○	制作	
35	7月10日	水		制作		制作	
36	7月11日	木		制作		制作	

37	7月12日	金		制作		制作/合同講評ガイダンス	
38	7月13日	土		制作	日本語	制作/映像ワーク	
39	7月14日	日					
40	7月15日	月		海の日			
41	7月16日	火		現代美術演習B		○	制作
42	7月17日	水	○	制作		○	制作
43	7月18日	木		制作	絵画概論		制作
44	7月19日	金	○	講評			絵画技法実習

### 学習目標

主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。

### 予習・準備物

制作ノート (テーマ,モチーフを書き出しておく) モチーフ資料(描きたい物,写真,画像等)

### 注意事項

デッサン=木炭,鉛筆など 有色デッサン=水彩,パステルなど 制作=主にタブロー 採点日厳守

### 評価方法

デッサン,エスキース,タブローの三点を採点。理解度,完成度,作品の魅力から総合的に評価。

## 2年 ファインアート科絵画造形専攻

# 絵画材料実習

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [802]

2019/5/10(金)-2019/6/5(水)

9:00-12:10 13:00-16:00

### 授業内容

油性キャンバス（市販）の張り方から吸収性キャンバス（白亜地）及び半吸収性キャンバス（エマルジョン）の製作を通して、顔料や膠など様々な材料に触れると同時に絵の具や溶き油の性質の講義も行う。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月10日	金	○	10:30~オリエンテーション	○	市販キャンバス張り・膠膨潤	
2	5月11日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
3	5月12日	日					
4	5月13日	月		制作 フランス語2	○	麻布張り・膠引き1	
5	5月14日	火		現代美術演習		絵画技法実習	
6	5月15日	水		自主制作		自主制作	
7	5月16日	木		自主制作		自主制作	
8	5月17日	金	○	制作/10:30~白亜地塗料製作	○	白亜塗布	
9	5月18日	土		制作		制作/映像ワーク	
10	5月19日	日					
11	5月20日	月		制作 フランス語2		自主制作	
12	5月21日	火		現代美術演習		絵画技法実習	
13	5月22日	水	○	麻布張り・膠引き2 エマルジョン地塗料製作	○	エマルジョン塗布	
14	5月23日	木		制作 絵画概論		自主制作	
15	5月24日	金	○	制作/10:30~油彩画材料講義	○	自主制作	
16	5月25日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
17	5月26日	日					
18	5月27日	月		制作 フランス語2		自主制作	
19	5月28日	火		現代美術演習		絵画技法実習	
20	5月29日	水		自主制作		自主制作	
21	5月30日	木		自主制作		自主制作	
22	5月31日	金	○	制作/10:30~パネル製作講義	○	パネル製作実習	
23	6月1日	土		制作/留学生報告会		制作/映像ワーク	
24	6月2日	日					
25	6月3日	月		制作 フランス語2	○	講評	
26	6月4日	火		現代美術演習		絵画技法実習	
27	6月5日	水		自主制作（予備日）		自主制作（予備日）	

### 学習目標

絵画では描く行為の前にどのような支持体を準備するかによってその表現を大きく左右することになる。この授業では近世以降、油画の支持体の中心をなしてきたキャンバスの製作や材料講義を通してそれらが表現に与える影響を理解する。

### 予習・準備物

### 注意事項

### 評価方法

# ドローイング

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [802]

4/10 (水)~5/9 (木)

9:00-12:10 16:00-16:00

## 授業内容

各自、現在興味のある事象に基づき様々な手法でドローイングを行い、イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。キャンバスに油彩といったタブローを構成する規範化された組み合わせにこだわらず、様々な支持体（ダンボール、金属板etc)に既成概念にとらわれず描いて見る。最終的にはそれらのドローイングが作品として自立しうるかを検証する。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	水	○	制作	○	制作	
2	4月11日	木		制作		制作	
3	4月12日	金		制作	○	紙すき研修ガイダンス/制作	
4	4月13日	土		制作/日本語		制作/映像ワークショップ	
5	4月14日	日					
6	4月15日	月		制作	○	制作	
7	4月16日	火		現代美術演習A		絵画技法実習	
8	4月17日	水		制作		制作	
9	4月18日	木		制作		制作	
10	4月19日	金		制作	○	制作	
11	4月20日	土		制作/日本語		制作/映像ワークショップ	
12	4月21日	日					
13	4月22日	月		制作		制作	
14	4月23日	火		現代美術演習A		絵画技法実習	
15	4月24日	水		研修旅行			
16	4月25日	木		研修旅行			
17	4月26日	金	○		○	講評	
18	5月7日	火		現代美術演習A		絵画技法実習	
19	5月8日	水		制作		制作	
20	5月9日	木		制作		制作	

## 学習目標

絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。

## 予習・準備物

様々な画材（授業内で説明します）

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点



## 2年 ファインアート科

# 絵画技法実習

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ 【501】

4/9(火)~6/4(火)

13:00-16:00

### 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月9日	火		現代美術演習A	○	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し	図版は予め学生が準備
2	4月16日	火		現代美術演習A	○	地透層（インプリマトゥーラ） 白色浮出	卵テンペラ 溶油の調合 他
3	4月23日	火		現代美術演習A	○	油絵の具1層目及び白色浮出	
4	5月7日	火		現代美術演習A	○	油絵の具2層目及び白色浮出	
5	5月14日	火		現代美術演習A	○	制作	
6	5月21日	火		現代美術演習A	○	制作	
7	5月28日	火		現代美術演習A	○	制作	
8	6月4日	火		現代美術演習A	○	講評	採点

### 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

### 予習・準備物

描きたい図版（写真）を各自準備する。図版はなるべく陰影があるものが望ましい。（人物、動物、花などの植物、静物）  
尚図版は初日オリエンテーションの際に講師がチェックします。描きにくい図版の場合変更してもら場合があります。

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

- 制作期間に見合う十分な完成度があるか
- 技術的な側面として混合技法の特徴を引き出した作品であるか
- 絵画表現として豊かな感性が感じられるか等

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習 A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [501]

4/9(火)~6/18(火)

9:00-12:10

### 授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月9日	火	○	オリエンテーション		絵画技法	デッサン道具
2	4月16日	火	○	演習I: 自己と表現		絵画技法	1年次に制作した作品1点
3	4月23日	火	○	演習II: 人の考え		絵画技法	
4	5月7日	火	○	演習III-I: 描かれるもの		絵画技法	
5	5月14日	火	○	演習III-II: 描かれるもの		絵画技法	
6	5月21日	火	○	演習IV: 色について		絵画技法	水彩絵具・複数の石膏像
7	5月28日	火	○	演習V: 破壊と再構成		絵画技法	雑誌・本・ポスター等持参
8	6月4日	火	○	演習VI: 拡張する絵画		絵画技法	
9	6月11日	火	○	演習VII: 現代の美術		絵画技法	
10	6月18日	火	○	講評		絵画技法	

### 学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

### 予習・準備物

オリエンテーション初日はデッサン道具を用意してきて下さい。各回画材を準備してもらいます。授業の最後に次週準備するものをお伝えします。

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点